

平成 2 2 年度事業計画

財団法人 千葉市教育振興財団

第 1 事業活動方針

市民文化の振興に寄与するため、教育、学術及び文化・文化財に関する各種の事業を行うとともに、生涯学習関連施設の管理運営を行う。

生涯学習センターについては、市民ニーズに基づいた学習活動を総合的に支援していくため、生涯学習情報の収集・提供及び生涯学習相談事業、生涯学習講座・講演会等の開催事業、指導者等養成事業、生涯学習に関する調査及び研究事業、メディア学習事業、生涯学習活動の支援に関する事業及び施設の維持管理業務や施設の貸出等の施設管理業務を行う。

美術館については、展示事業として特別企画の「伊藤若冲-アナザーワールド-」展などの各種企画展を合わせて6本、所蔵作品展を5本開催するとともに、これらの展覧会に関連した講演会等を行う。また教育普及事業では、ワークショップ、小・中学生を対象として行っている鑑賞教育等を行うとともに、市民に好評を得ているボランティアによるギャラリートークを継続する。

千葉市民ギャラリー・いなげについては、展示事業として平成21年度に引き続き千葉大学との連携による「展示を作る」展や「千葉市美術館所蔵作品展」を開催するほか、自主事業として「小学生の親子を対象とした『茶道に親しむ』茶会」などを実施する。また、制作室・展示室を芸術・文化活動の拠点及び発表の場として貸し出すほか、歴史的建物の「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」の公開を行う。

埋蔵文化財調査センターについては、埋蔵文化財発掘調査及び出土品等の収蔵・保管を行うとともに、埋蔵文化財の保護に関する普及啓発を図るため、遺跡発表会や遺跡巡回展等を行い埋蔵文化財の意義並びに保護に関する普及啓発活動を行う。

第2 事業計画の内容

1 千葉市生涯学習センター

(1) 指定管理受託事業

① 生涯学習事業に関する業務

ア 生涯学習に関する情報の収集・提供及び生涯学習相談事業

市民の多種・多様な学習ニーズに対応した生涯学習情報の収集・提供、きめ細やかな生涯学習相談、生涯学習の普及・啓発、生涯学習ボランティアセンターの運営等を行い、市民の学習活動の充実を図る。

事業名称等	内 容 (講座等)
生涯学習に関する案内情報の整備・提供	1 生涯学習情報の収集・整理・提供 2 生涯学習情報提供サービス「ちばまなびネット」の運用・管理 3 普及啓発事業 (1) センター情報紙「生涯学習ひろばS a !」・「S a !別冊」 〔拡充〕 ・生涯学習情報誌「できる！」の発行 (2) 各種ポスター・リーフレットの発行 (3) 企画展示
生涯学習関連資料の収集	1 専門情報の収集・整備 2 調査・資料室の運営 3 資料管理システムの運用・管理
生涯学習相談	1 相談員による相談の実施 2 生涯学習相談員の養成
ちば生涯学習ボランティアセンターの運営	1 生涯学習ボランティアの登録受付・登録者リストの作成・配布 2 登録ボランティアのコーディネートの実施 3 登録ボランティアのためのスキルアップ支援 4 登録ボランティアが編集する「ぼらセン通信」発行の支援

イ 生涯学習に関する講座、講演会等の開催

ちばカレッジについては「ちば」の魅力や文化の創造を再発見できる学習とし、また、現代的課題学習については、市民や千葉市を取り巻く状況を踏まえ、社会の要請に応じたプログラムを企画し、体験学習や創造学習を取り入れた事業を実施する。

事業名称等	内 容 (講座等)	予定回数
ちばカレッジ	「ちば」に関わる事象を対象に講座を実施する。 1 「ちばの大地と自然」 2 「もっと もっと、ちば。」 — ちば からのヒント— * ちばカレッジ等の地域学の普及と講座への参加を促すため、5月に公開講座として講演会を実施する。 〔拡充〕	1 0 1 0 1

現代的課題学習	<p>子育てや青少年の育成、高齢者の生きがい、自分のキャリア（生き方・働き方）への関心、環境問題などの現代社会が持つ課題に対応した講座を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 子育て支援（家庭教育講演会、親子で遊ぼう、わらべうたと絵本の会、ちば子ども学講座、PTA・保護者会新任役員研修、家庭教育に関する講座（メディアリテラシーに関する講座）【新規】） 青少年育成（環境学習講座、子ども科学講座、子どもチャレンジ教室、放課後子ども教室支援） 高齢者生きがいづくり学習（デジカメピクニック、高齢者学習発表会） キャリアデザイン支援（子どものハローワーク、大学生向けのコミュニケーション講座、ワークライフバランス） 各種機関等との連携（高等教育機関との連携、企業との連携、中央図書館との連携、さわやかちば県民プラザとの連携（生涯学習コーディネーター研修）【新規】） 	<p>38</p> <p>20</p> <p>13</p> <p>12</p> <p>16</p>
---------	--	---

ウ 指導者養成事業

市内の生涯学習・社会教育団体・グループ等の活動を支援するため、生涯学習施設関係職員やこれら団体・グループ等の指導者に対して、資質の向上、専門的知識や技術の習得に向けた研修を実施する。

事業名称等	内 容（講座等）	予定回数
指導者の養成	<p>地域の生涯学習活動を支援するために、市民、生涯学習施設職員等を対象に指導者養成講座を開催する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 生涯学習指導者研修（活動に役立つ実践セミナー） 生涯学習関係職員研修（公民館職員研修） 職員研修 	<p>2</p> <p>5</p> <p>随時</p>
学習ボランティア活動の支援	<p>当センターをはじめ、市内生涯学習関連施設で活動するボランティアの養成等を行うとともに、「ちば生涯学習ボランティアセンター」登録者に対して研修の場を提供する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 施設ボランティア（まなびサポーター）養成研修 施設ボランティア（まなびサポーター）フォローアップ研修 生涯学習コーディネーター研修（再掲：「現代的課題学習」さわやかちば県民プラザとの連携） 生涯学習ボランティア研修（基礎・実践） 学習ボランティア活動の支援 （まなびサポーターによる企画講座、デジカメ相談会、パソコン相談コーナー、まなびサポーター手帳交付式） 	<p>16</p> <p>10</p> <p>2</p> <p>5</p> <p>91</p>
研修生等の受入れ	<p>教職員の社会体験派遣研修、大学生の社会教育実習、インターンシップ及び中学生の職場体験学習の場を提供する。</p>	

	1 社会体験派遣研修（教職員）	随時
	2 社会教育実習（大学生）	随時
	3 インターンシップ（大学生）	随時
	4 職場体験学習（中学生）	随時

エ 生涯学習に関する調査及び研究

講座の企画・立案を検討するための基礎資料として年間事業報告書の作成等を実施する。

事業名称等	内 容（講座等）
年間事業報告書の作成・配布	年1回、生涯学習センターの講座等の前年度実績などを掲載した年間事業報告書を作成し、関係機関へ配布する。 作成部数 600部
生涯学習に関する調査研究	ボランティアに関する調査研究を実施し、報告書を関係機関へ配布する。

オ メディア学習事業

市民ニーズの高いパソコン学習講座、視聴覚事業、映画鑑賞会の開催、マルチメディア体験ブースの運営等を行うとともに、新しい時代の学習活動を積極的に取り入れた学習講座の開設と視聴覚機器やパソコン・AV機器に関する学習機材・教材の運用を行う。

事業名称等	内 容（講座等）	予定回数
パソコン講座	市民の学習ニーズに対応して、講座の難易度を初級・中級・上級の習熟度別クラスに分けて実施する。	
	1 初級パソコン講座	
	(1) 入門・初心者向け講座（公民館出前パソコン講座） 【拡充】	384
	(2) 子ども向け講座	2
	(3) 未就学児・小学生と保護者のための講座	1
	2 中級パソコン講座	
	(1) デジタルカメラの講座	48
	(2) ワード講座	24
	(3) エクセル講座	12
	3 上級パソコン講座	
	(1) ホームページ作成講座	18
	(2) 画像加工講座	15
(3) パワーポイント講座	9	
4 市民自主企画パソコン講座(公募)	40	
5 ボランティアによる講座	72	
6 出前パソコン講座	2	
視聴覚事業	16mm映画、ビデオ等学習教材を収集・貸出するとともに、操作	

	<p>講習会を実施する。また、所有する名画の上映会を当センターに限らず出前方式で実施する。</p> <p>1 視聴覚ライブラリーの運営（16mm映画フィルム・ビデオソフト等の教材・機材を学校や地域への貸出）</p> <p>2 視聴覚ライブラリーの収集・管理（16mm映画フィルム・ビデオソフト等の教材・機材の計画的な収集及び管理）</p> <p>3 16mm映写機操作講習会</p> <p>4 視聴覚ライブラリー等を活用した学習事業の企画・実施</p> <p>（1）水曜名画座</p> <p>（2）クラシック名画上映会</p> <p>（3）親子アニメ上映会</p> <p>（4）夜間上映会</p> <p>（5）地域交流幼児向け上映会</p> <p>（6）出前上映会</p>	<p>通年</p> <p>通年</p> <p>1</p> <p>2 4</p> <p>2 4</p> <p>2 4</p> <p>4</p> <p>7</p> <p>6</p>
マルチメディア体験ブースの運営	<p>子どもから高齢者までの誰もが、マルチメディアを体験できる場を提供する。</p> <p>1 PCブースの提供 インターネットの閲覧</p> <p>2 AVブースの提供 VHSソフト、DVDソフトの視聴</p> <p>3 新しいマルチメディア機器の提供【新規】 ニンテンドーDSの体験コーナーの設置（2台）</p>	<p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年（9月より）</p>
映像の学習	<p>デジタル動画の加工編集に必要な知識や技術を身につける講座を実施するとともに、学習活動を映像として記録するボランティアの養成を図る。</p> <p>1 デジタルビデオ編集講座</p> <p>2 映像記録の作成</p>	<p>1 2</p> <p>通年</p>
メディアリテラシーに関する学習 (再掲:家庭教育に関する学習)	<p>保護者向けメディアリテラシーに関する講座（家庭教育に関する講座（再掲））【新規】</p>	<p>1</p>

カ 生涯学習活動の支援に関する事業

市民の自主企画講座への支援、ボランティアによる指導の支援など市民の自主的な活動を支援するとともに、他の生涯学習関係機関や施設で実施していない文化に関する学習機会を提供する。

事業名称等	内容（講座等）	予定回数
市民の学習活動への支援	<p>市民が自主的・主体的に学ぶための支援を行う。</p> <p>1 市民の自主的学習活動に対する指導・助言・援助</p>	<p>2 8</p>

	市民自主企画講座（公募） 2 市民楽団養成講座	17
学習成果の発表の 機会の確保	市民の活発な学習活動を自己完結させることなく、更なる学習の発展を図るとともに、他の市民への生涯学習の啓発を図るため、学習成果の発表の場の提供を図る。 1 まなびフェスタの企画・実施（12月4・5日） 2 発表・鑑賞機会の提供 （高等学校演劇発表会、舞台照明講座、ボランティア等による学習成果の発表、やすらぎのアトリウムコンサート、けやきコンサート、ミュージックフェスタ、まなびフェスタ合唱祭）	2 34

② 施設管理業務

ア 開館日・開館時間

次の休館日を除く通年開館とし、開館時間は午前9時～午後9時とする。
・毎月第4月曜日（祝日法の休日にあたる場合は、その翌日）
・年末年始（12月29日～1月3日）

イ 施設貸出業務

生涯学習センター各施設及び附属設備の利用受付・貸出を行うとともに、下記の利用料金を徴収する。また、施設の入場・退場に関する手続きを適正に行うとともに、附属設備の使用者に対し、利用方法の説明、指導等のサポートを行う。

(ア) 施設利用時間帯区分・利用料金

区 分	条例上の上限 (1日につき)	利用時間帯区分			
		午前 9:00～ 12:00	午後 13:00～ 17:00	夜間 18:00～ 21:00	全日 9:00～ 21:00
ホー ル (平日)	50,800円	12,750円	17,670円	12,750円	43,000円
	(土日祝日) 50,800円	13,250円	24,300円	13,250円	50,800円

区 分	条例上の上限 (1日につき)	利用時間帯区分					
		午 前 9:00～ 12:00	午後A 12:30～ 15:00	午後B 15:30～ 18:00	夜 間 18:30～ 21:00	全 日 9:00～ 21:00	
研 修 室	研修室1・2・3	8,680円	2,280円	2,130円	2,130円	2,130円	8,500円
	大研修室	24,760円	6,460円	6,100円	6,100円	6,100円	24,500円
	食文化研修室	11,990円	3,130円	2,950円	2,950円	2,950円	11,500円
	工芸研修室	10,590円	2,770円	2,600円	2,600円	2,600円	10,500円
	小会議室	5,480円	1,440円	1,340円	1,340円	1,340円	5,000円
	特別会議室	23,920円	4,890円	4,080円	4,080円	4,080円	17,000円
	和室	8,800円	2,300円	2,150円	2,150円	2,150円	8,500円

マルチメディアスペース	メディアエッグ	21,110 円	5,510 円	5,100 円	5,100 円	5,100 円	20,500 円
	パソコン学習室	22,170 円	5,790 円	5,450 円	5,450 円	5,450 円	22,000 円
	スタジオ	13,190 円	3,440 円	3,230 円	3,230 円	3,230 円	13,000 円
	A V調整室	9,730 円	2,550 円	2,380 円	2,380 円	2,380 円	9,500 円
	映像音声加工編集ブース	3,120 円	ブース時間貸し・10 か所 (1 時間あたり 160 円)				
	アナウンスブース	1,240 円	330 円	300 円	300 円	300 円	1,200 円
	デジタル音楽室 1・2	960 円	260 円	230 円	230 円	230 円	900 円
	音楽スタジオ	12,890 円	3,370 円	3,170 円	3,170 円	3,170 円	12,500 円

(イ) 附属設備利用料金

区分	品 目	単位	金 額 (施設の利用時間 帯区分ごとに)	備 考
舞 台 設 備	ホール照明セット(ボーダーライト、アッパーホリゾンライト、 フロントサイドスポットライト、シーリングスポットライト)	1 式	2,600 円	
	ホール音響セット	1 式	3,150 円	
	はね返りスピーカー	1 台	510 円	
	演台及び花台	1 式	510 円	司会台を含む
	ホール用デッキセット (DVD、CD、MD、カセット)	1 式	2,200 円	
	幕板付会議机	1 台	200 円	
	椅子	1 本	50 円	折りたたみ、 スタッキング
	コントラバス用椅子	1 本	100 円	
	ピアノ椅子	1 本	300 円	
	指揮者用譜面台	1 台	150 円	
	演奏者用譜面台	1 台	50 円	
	指揮台	1 台	300 円	
	山台 (平台)	1 式	5,760 円	
	プログラムスタンド	1 台	100 円	
映 像 設 備	ビデオプロジェクター、スライドプロジェクター、OHP、 書画カメラ	1 台	1,250 円	可動用
	大型プロジェクター	1 台	1,880 円	マイクセット
	スクリーン	1 式	830 円	
	A Vワゴン (ビデオ、テレビ)	1 式	1,570 円	
	16 ミリ映画フィルムコンバーター	1 台	1,780 円	
音 響 設 備	有線マイク・マイクスタンドセット	1 式	720 円	床置型、卓上型
	ワイヤレスマイクセット	1 式	1,050 円	ハンド型、 タイピン型
	デッキセット (CD、MD、カセット)	1 式	1,680 円	
	ダブルカセットデッキ (CD、MD、カセット)	1 式	1,050 円	
	移動用音響調整卓	1 式	2,610 円	
	周辺機器	1 台	1,250 円	

楽 器	国産フルコンピアノ	1台	6,300円	
	電子ピアノ	1台	830円	
	楽器・アンプセット（ドラムス、シンセサイザー、ボーカルアンプ、ギターアンプ）	1式	1,570円	
そ の 他	電子白板	1台	420円	
	展示用パネル、白板、掲示板	1台	100円	移動用

(ウ) 利用カードによる施設予約受付業務

- a 利用カードにより、施設予約やマルチメディア体験ブース利用時の申請が簡略化される。
- b センター施設の予約状況をインターネット上で確認できる。

(エ) 減免基準及び減免額

- a 障害者及び障害者団体が使用する場合は、利用料金の50%相当額を減額する。
- b 空き施設の利用効率を高めるため、以下の場合には利用料金の30%相当額を減額する。
 - (a) ホール利用者が利用当日前1か月以内に練習のみに使用する場合
 - (b) ホール、映像音声加工ブース、アナウンスブース、デジタル音楽室を除く空き施設を直前（当日～1週間前）に申し込み使用する場合

ウ 駐車場使用料の徴収・納入業務

駐車場の利用者から、使用料を徴収し、教育委員会の指定する金融機関に翌営業日に納入する。

エ ホームページの運営

ホームページを、月2回程度更新し、施設内容や講座・学習情報等広報活動を行う。

オ その他業務

- (ア) 施設利用者の利便性及び安全性に十分配慮した接客等を行う。
- (イ) 各種問い合わせや見学者への対応など、施設利用者の円滑な活動のための必要な支援を行う。
- (ウ) その他、急病や災害時には、市や医療機関、関係機関と協力し、的確に対応を図る。

③ 維持管理業務

建築物保守管理業務、建築設備保守管理業務、清掃業務、警備業務、植栽維持管理業務、敷地内施設等管理業務、衛生管理業務、備品等保守管理業務その他の業務を行う。

(2) 自主事業

① アトリウムガーデンの活用（講座・イベントの企画・誘致）

アトリウムガーデン等を活用することにより、市民が生涯学習を通じて交流を図る場とする。また、ボランティアの活動や成果発表の場の提供にも寄与する。

事業名称	七夕かざりをつくろう	千葉市のふれあいカルタをつくろう
対象	子どもと保護者、来館者	小学生
時期	6月～7月	1月
回数・時間	1回2時間	1回2時間
定員	30組 60人	50人
内容	小学生及び一般来館者作成の短冊で七夕かざりをつくり、アトリウムガーデンに季節感を演出する。	子どもたちが、ふるさと「千葉市」の良いところ、自慢したいところ等で、独自のカルタを作ることによって、日本の韻文形式に親しむ。

② 放課後子ども教室支援業務

研修内容の指導法や実技を通して、子ども教室の企画・運営の向上に役立てる。

事業名称	コーディネーター等研修会
対象	放課後子ども教室コーディネーターまたは指導員・協力員
時期	5月～11月
回数・時間	2時間×4回
定員	30人×4回
内容	放課後子ども教室に活用できる実技・講演等

③ 生涯学習ボランティアセンター活動促進

生涯学習ボランティアセンターを広く周知するとともに、登録者の活動の場を提供する。

「ちば生涯学習ボランティアセンター」に登録している個人・団体登録者相互の交流を図ると共に、生涯学習及びボランティア活動に対する市民の理解促進、普及・啓発を図る。

事業名称	生涯学習ボランティアパーク	
対象	生涯学習ボランティアセンター登録者・市民	
時期	11月	2月
回数	1回1日	1回1週間
内容	『ぼらセンフォーラム』 生涯学習ボランティアに関する講演会	『ボランティアパーク 2011』 登録者による講座・講習会、アトリウムガーデンでのステージ発表、活動紹介展（パネル展示）

④ 夏休み子ども勉強会【新規】

夏季休業中における子どもの居場所の提供と学習相談の場として、夏休み子ども勉強会を実施し、小学生の学習活動の支援を行う。

事業名称	夏休み子ども勉強会
対象	小学生
時期	7月～8月
回数・時間	5回
定員	30人
内容	夏季休業中における子どもの居場所の提供と学習相談等（読書感想文の指導や、自由研究の相談など）を実施し、小学生の学習活動の支援を行う。

⑤ 千葉県ものしり検定支援事業【新規】

千葉県及びその周辺の風土や地理・文化・産業・歴史などについて学び、郷土「ちば」への愛着心や学習意欲の向上に役立てる。

事業名称	千葉県ものしり検定
対象	小学生3年生～中学生
時期	8月
回数・時間	5回
定員	60人
内容	千葉県及びその周辺の風土や地理・文化・産業・歴史などについて学習し、講座最終日に学習成果の達成度を図るための検定（試験）を行い、郷土「ちば」への愛着心や学習意欲の向上を図る。

⑥ 生涯学習関連施設メディア学習支援業務

市民のメディア学習の機会を拡充するため、パソコン講座を開催しようとする公民館等の生涯学習関連施設に対して必要な機材を貸与する。

<貸与する機材> ノートパソコン33台ほか周辺機器

⑦ 緑の環境整備事業

正面出入り口やアトリウムガーデン内、第1駐車場等に、季節の花を展示する。

⑧ その他の利用者支援事業

自動販売機設置

2階・3階に各1台設置

2 千葉市美術館

美術に関する市民の知識の向上を図るとともに、市民に親しまれる美術館を目指し、本年度は、企画展6本・所蔵作品展5本を開催する。また、教育普及事業として学芸員とボランティアスタッフの連携により幅広い事業活動を展開するほか、展覧会開催中における講演会や子ども向け関連イベント等を行い、美術に関心を持つ人々の底辺拡大を図る。その他美術品収集、保存、調査研究事業等もあわせて行う。

(1) 指定管理受託事業

① 展示事業

特別企画として、「伊藤若冲-アナザーワールド-」展を開催するほか、企画展4本と、毎年度実施している市民展（第42回千葉市民美術展覧会）及び美術館所蔵作品展5本の計11本の展覧会を実施する。

ア [春季企画]

企画展名	伊藤若冲-アナザーワールド-
期 間	平成22年5月22日（土）～6月27日（日）
主 催	千葉市美術館
巡 回 先	静岡県立美術館
内 容	江戸時代の画家である伊藤若冲（1716-1800）は、近年、一般の美術愛好家にも広くその名を知られる存在となった。本展では、若冲の水墨の作品を中心に、関連する着色の作品を含めて構成するほか、他作家の作品によって彼の水墨表現の前史を示す。掛軸、屏風、襖絵など約150点を紹介。

イ [特別企画]

企画展名	MASKS 仮の面（かりのおもて）
期 間	平成22年7月6日（火）～8月15日（日）
主 催	千葉市美術館
巡 回 先	足利市立美術館
内 容	仮面は民族や国境を越え、儀礼や信仰、芸能などに幅広く用いられている。本展では日本、アフリカなど木彫を中心とした仮面約150点を展示し、造形と精神性との関わりを考察しながら、その美の本質を紹介する。

ウ [開館15周年記念特別企画 1]

企画展名	特別展 田中一村 新たなる全貌
期 間	平成22年8月21日（土）～9月26日（日）
主 催	千葉市美術館
巡 回 先	鹿児島市立美術館
内 容	田中一村（1908-77）は熱帯の植物、魚、鳥を描いたことで知られる日本画家であるが、奄美大島に渡る以前は千葉市に20年在住していた。本展は、地元ゆかりの美術館が本格的に取り組む初めての回顧展として、新たに発見された資料多数を含む約250点によって構成する。

エ [開館15周年記念特別企画 2]

企画展名	ダン・フレイヴィン展
期 間	平成22年10月5日(火)～12月5日(日)
主 催	千葉市美術館
巡 回 先	滋賀県立近代美術館
内 容	ダン・フレイヴィン(1933-96)は1960年代以降、市販の白熱蛍光灯とカラー蛍光灯を用いた作品によってライト・アート(光の芸術)の代表的な作家として高い評価を得、グッゲンハイム美術館など世界各地の主要な美術館で個展を行っている。今回は遺族が所蔵するコレクションから代表作約30点を厳選して公開する。

オ [開館15周年記念特別企画 3]

企画展名	帰ってきた江戸絵画 ニューオーリンズ ギッター・コレクション展
期 間	平成22年12月14日(火)～平成23年1月23日(日)
主 催	千葉市美術館、NHKプロモーション
巡 回 先	松坂屋美術館、静岡県立美術館、福島県立美術館、京都府京都文化博物館
内 容	アメリカ・ニューオーリンズ在住のギッター夫妻が収集した伊藤若冲、琳派、禅画などユニークな江戸時代の絵画約100点を紹介する。

カ 市民展

企画展名	第42回千葉市民美術展覧会
期 間	平成23年3月5日(土)～3月25日(金)
主 催	千葉市美術協会・千葉市文化連盟・千葉市・千葉市美術館
内 容	市民から公募した作品及び千葉市美術協会会員の作品約1,000点を7部門に分けて展示する。

キ 所蔵作品展Ⅰ

所蔵作品展名	リニューアル・オープン記念所蔵名品展 近代日本美術の百花 ^{ひゃっか}
期 間	平成22年4月6日(火)～5月9日(日)
内 容	当館の所蔵作品の近代日本美術から、「花」をテーマに版画約200点、絵画約50点を紹介する。

ク 所蔵作品展Ⅱ

所蔵作品展名	江戸みやげ ～所蔵浮世絵名品選～
期 間	平成22年5月22日(土)～6月27日(日)
内 容	当館の所蔵作品の中から、浮世絵作品のコレクションを中心に展示する。

ケ 所蔵作品展Ⅲ

所蔵作品展名	勅使河原蒼風と戦後美術 ^{てしがはらそうふう}
期 間	平成22年7月6日(火)～8月15日(日)
内 容	(財)草月会から寄託された美術品を基に、いけばなのみならず様々なジャンルで

活躍した勅使河原蒼風と関係する造形作家のコレクションを紹介する。

コ 所蔵作品展Ⅳ

所蔵作品展名	わが心の千葉
期 間	平成22年8月21日(土)～9月26日(日)
内 容	「田中一村」展に合わせ、所蔵作品の中から戦前の千葉を描いた作品を中心に展示する。

サ 所蔵作品展Ⅴ

所蔵作品展名	新収蔵作品展／武蔵野美術大学美術資料図書館所蔵 ネフ・コレクション展
期 間	平成23年1月29日(土)～2月27日(日)
内 容	近年美術館に寄贈・寄託された作品を公開する。／武蔵野美術大学美術資料図書館が所蔵するヨーロッパの木製玩具のコレクションを紹介する。

* 上記の展覧会名は変更する場合があります。

② 教育普及事業

ア 展覧会関連の各種講座やギャラリートークなど

講 座 名 等	会 場	参加予定(人)	時 期
「伊藤若冲-アナザーワールド-」 講演会	美術館講堂	延べ300	会期中2回
「MASKS-仮の面」 講演会	美術館講堂	延べ150	会期中1回
「MASKS-仮の面」 ワークショップ	美術館講堂	20	会期中1回
「田中一村 新たな全貌」 講演会	美術館講堂	延べ150	会期中1回
「ダン・フレイヴィン展」 講演会	美術館講堂	延べ150	会期中1回
「ギター・コレクション展」 講演会	美術館講堂	延べ300	会期中2回
ニューオーリンズ・ジャズ・ナイト	美術館講堂	50	会期中1回
ボランティアによる各展覧会定例ギャラリートーク	展示会場	延べ800	会期中週1回
ボランティアによる各展覧会自主ギャラリートーク	展示会場	延べ800	約80回
学芸員による各展覧会ギャラリートーク	展示会場	延べ300	12回
木版画摺り体験ワークショップ	1階入口	延べ150	1回
木版画年賀状制作講座	講座室	20	1回
中学生のためのギャラリートーク	展示会場	60	1回

* 上記の関連行事名は変更する場合があります。

イ ボランティアスタッフとの協働

ボランティアスタッフ28人(平成22年2月現在)により、ギャラリートークを実施する。また、前年度に引き続き、小・中・特別支援学校鑑賞教育と学校団体鑑賞プログラムにおける鑑賞リーダーや、各種ワークショップへの協力を依頼するほか、千葉市生涯学習センター主催の「まなびフェスタ」への参加や、地域とも連携して美術館へのアクセスを考えるグループの活動も行う。今年度は活動のさらなる充実をめざし、第三期スタッフの募集と養成を実施する。

ウ 学校との連携事業

- ・ 小・中・特別支援学校鑑賞教育推進事業
- ・ 小・中・特別支援学校団体鑑賞プログラム（団体での来館者に対応）
- ・ 中学生の職場体験学習（館内施設の見学、展示・撤去作業等の体験）
- ・ 千葉県図工・美術担当教諭鑑賞一日研修事業
- ・ 千葉県教育研究会美術館活用グループとの連携（月例研究会の開催及びワークショップ等の事業連携開催）

エ アウトリーチプログラム

市民の芸術文化育成と、地域の活性化を目的として、千葉大学や地域NPOと連携し、千葉市内及び市外の若手芸術家も核に据えて事業を実施する。

オ 博物館実習

大学で博物館学芸員の資格を取得する学生を対象として、博物館実習を実施する。
（年間2グループ延べ24人まで。各グループ延べ6日）

カ 図書室の管理運営

市民が自ら調査研究することを支援する目的から、美術館図書室にふさわしい図書を中心に充実させるとともに、利用しやすくするよう努める。

③ 収集事業

千葉市と協議・連携し、すぐれた美術品の収集に努め、より充実したコレクションの形成を図る。

④ 保存事業

収集作品の性質・現状を十分考慮し、管理には細心の注意を払い、必要なものに修復を施すとともに、保存・保管に万全を期す。

⑤ 調査研究事業

調査研究の成果は、研究紀要等をはじめとする出版物等をもって公表し、市民へ情報サービスとして提供していく。

⑥ 施設管理事業

ア 施設の利用

市民ギャラリー・講堂・講座室を団体等へ貸し出し、さや堂ホールにおいては、企画展等の関連コンサートなどを開催するほか、貸しホールとしても積極的に活用を図る。また、図書室の市民利用の促進をはかり、美術全般への関心を促す。

(ア) 開館日

次の休館日を除く通年開館とする。

- ・毎月第1月曜日（祝日法の休日にあたるときは、その翌日）
- ・年末年始（12月29日～1月3日）

(イ) 開館時間

- ・展示室 午前10時～午後6時（金・土曜日は午後8時まで）
- ・市民ギャラリー 午前10時～午後6時（金・土曜日は午後8時まで）
- ・さや堂ホール・講座室・講堂
午前10時～午後9時

イ 維持管理業務

建築物保守管理業務、設備機器管理業務、備品等保守管理業務等、千葉市の「管理運営の基準」に基づく管理業務を実施する。

(2) 自主事業

市民芸術文化の拠点としての美術館の設置目的を果たすため、受託事業を補完する意味での自主事業の企画は、きわめて重要であるとの考えに基づき、美術などの芸術文化に親しんでもらうために、講座等多様なイベントを実施する。

① イベント事業

講座名等	会場	参加予定(人)	時期
市民美術講座	美術館講堂	延べ500	年間10回
学芸員出前講座（館外での講座も含む）	市民文化大学他	延べ150	年間4～6回
「展示を作る」（実際展示）	市民ギャラリー	500	7月頃
友の会バスツアー	未定	50	秋

② 友の会運営事業

美術に広く関心を持つ人々の美術に関する知識及び教養の向上を図るとともに、千葉市美術館の円滑な運営を目指し、芸術文化の振興に資するため、「千葉市美術館友の会」を運営する。

③ 地域連携事業

美術館の認知度を高めるため、千葉市美術館に近接した商店街や他の施設と連携して事業を展開する。

④ 収納事務事業

千葉市美術館の平成17年度以前の図録等の売上の収納事務を実施する。

⑤ **美術館環境整備事業**

来館者が美術館を快適に利用できるよう、美術館の環境をより美しく維持するための整備を行う。

⑥ **展覧会関連事業**

展覧会実行委員会から依頼を受け、出品交渉等を実施するなど、展覧会の開催に付随する事務を実施する。

3 千葉市民ギャラリー・いなげ

各種の展覧会を開催するとともに、千葉市における美術を中心とした芸術活動の一拠点として、多くの市民の利用促進を図る。また、歴史的建物である「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」を広く市民等に公開する。

(1) 指定管理受託事業

① 展示事業

展示事業名	「展示を作る」
期 間	平成23年1月12日(水)～1月23日(日)
内 容	千葉大学と連携し、大学の授業として展覧会の展示を取り上げ、その締め括りとして千葉市民ギャラリー・いなげで展示をする。詳細は未定。

展示事業名	「千葉市美術館所蔵作品展」
期 間	平成23年2月8日(火)～2月20日(日)
内 容	千葉市美術館の所蔵作品の中から、近代版画を紹介する予定。

② 施設活用事業

制作室・展示室を美術等の芸術・文化活動の拠点及び発表の場として各種団体等へ貸し出しを行う。

ア 開館時間

- ・展示室 午前9時～午後5時15分
- ・制作室 午前9時～午後9時

イ 休館日

- ・月曜日(祝日法の休日にあたるときは、その翌日)
- ・年末年始(12月29日～1月3日)

③ 歴史的建物公開管理事業

稲毛の歴史・文化の理解や関心を深めるために、国の登録文化財である「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」や「千葉市ゆかりの家・いなげ」の歴史的建物を広く市民等に公開する。

(「千葉市ゆかりの家・いなげ」の公開は市委託事業)。

ア 公開時間

午前9時～午後5時15分

イ 休館日

- ・月曜日(祝日法の休日にあたるときは、その翌日)
- ・年末年始(12月29日～1月3日)

※ なお、「千葉市ゆかりの家・いなげ」の公開時間、休館日等は委託条件による。

(2) 自主事業

ギャラリーの認知度を高め多くの市民の利用促進を図るため、隣接の国登録有形文化財「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」と庭園を活用したイベントを実施する。

講座・イベントの開催

事業名等	会場	参加予定(人)	時期
「小学生を対象にした 子ども向け美術講座」	市民ギャラリー・いなげ 第2制作室	10	8月7日(土) 及び8日(日) の2日間
「小学生の親子を対象とした 『茶道に親しむ』茶会」【新規】	市民ギャラリー・いなげ 和室	親子10組	7月31日 (土)
「市民対象の「写真撮影会」【新規】	市民ギャラリー・いなげ 及びその周辺	20	9月13日 (月)及び 9月21日 (火)

4 千葉市埋蔵文化財調査センター

埋蔵文化財調査センターでは、土地の開発等によって失われつつある埋蔵文化財を記録として後世に伝えるため、文化財の適正な保護と効率的な調査を目指し、調査体制の更なる整備・強化を図るとともに、遺跡発表会や現地説明会、調査センター内での展示・説明等を通して、埋蔵文化財の意義ならびに保護に関する普及啓発活動を行う。

(1) 受託事業

① 埋蔵文化財発掘調査事業

埋蔵文化財発掘調査事業は、埋蔵文化財を記録として保存するため、千葉県教育委員会及び千葉市教育委員会の指導のもとに発掘調査、整理・報告書刊行を行う。

番号	事業名	委託者	遺跡		調査内容
			名称	種別	
1	千葉市公共事業等に 伴う整理事業	千葉市	<small>もちがさき</small> 餅ヶ崎遺跡	旧石器時代 ほか	整理
2	市内遺跡発掘調査事業 (国庫補助事業)	千葉市	市内全域		確認調査 12,000 m ²
3	市内遺跡再整理事業 (国庫補助事業)	千葉市	市内全域		既報告資料の再整理
4	開発事前調査事業	千葉市	市内全域		突発的に発生した工事 等に対応 確認・本調査 2,500 m ²
5	店舗建設に伴う発掘 事業	三菱地所(株)	<small>だいぜんのみなみ</small> 大膳野南貝塚	縄文時代～ 中世	本調査 17,270 m ²
6	<small>みやこ</small> 都県営住宅解体工事に 伴う発掘事業	千葉県	<small>むかえのだい</small> 向ノ台遺跡	縄文時代～ 中世	本調査・整理 8,000 m ²

② 文化財普及事業及び収蔵保管事業

遺跡発表会・現地見学会・ロビー巡回展・センター展示室の公開と展示解説を実施するとともに、学校・公民館等への出前授業と資料貸出を行う。また、博物館等の公共施設や市民団体の依頼を受けて講座等に職員を派遣する。これらの埋蔵文化財を活用した普及事業を通して、文化財に関する理解を深め、その保護思想を培うことに努める。さらに、国民共有の財産である埋蔵文化財を後世に正しく伝えるため、発掘調査で得られた遺物や記録類の散逸や損壊を防ぎ、後世の活用に資するために収蔵保管事業を行う。

ア 遺跡発表会等

(ア) 千葉市遺跡発表会

- ・開催時期 平成23年2月下旬
- ・場所 千葉市生涯学習センター(予定)

- ・内 容 平成22年度に発掘調査あるいは整理作業を実施した遺跡等について、調査成果を広く市民に公開する。

(イ) 出土遺物巡回展「房総発掘ものがたり」(主催：(財)千葉県教育振興財団他に協力)

- ・展示期間 平成22年7月3日(土)～平成23年2月27日(日)
- ・場 所 千葉県立中央博物館他、県内博物館5館
- ・内 容 遺跡から出土した考古資料等を、広く県民に公開するため、県内6カ所の展示施設で巡回展示する。また、千葉県立中央博物館において、展示遺跡に関する調査・研究成果の発表会を2月下旬に実施する。

(ウ) 遺跡現地見学会

- ・内 容 郷土の歴史と埋蔵文化財保護の重要性を広く理解してもらうため、発掘中の遺跡の現地説明会を行う。今年度は、大膳野南貝塚を予定。

(エ) 埋蔵文化財ロビー巡回展

- ・開催時期 平成22年8月から平成23年2月
- ・場 所 各区役所ロビーおよび埋蔵文化財調査センター(予定)
- ・内 容 発掘調査が完了した遺跡及び遺物を通して、市民に広く地域の歴史を理解してもらうため、出土品等の展示を行う。また、展示期間中に講演会を埋蔵文化財調査センターで実施する予定。

イ 学校・生涯学習関連施設との連携

(ア) 出前授業

- ・内 容 埋蔵文化財に関する学生・市民の興味及び保護思想を喚起するため、小・中学校及び生涯学習関連施設等に出向き、「講座」や「勾玉作り」「火起こし」「土器などに触れる」等の体験学習指導を行う。

(イ) 講師派遣事業

- ・内 容 一般市民の埋蔵文化財に対する理解と認識を深めてもらうため、博物館等の公共施設や市民団体の依頼を受けて、自主講座等に職員を講師として派遣する。

(ウ) 貸出事業 「見て、触れて、みんなの古代体験」

- ・内 容 埋蔵文化財資料に直に触れる機会を通して埋蔵文化財への理解を深めてもらうため、学校及び生涯学習関連施設等へ、整理の終了した土器や石器等の遺物の貸し出しを行う。

ウ 展示室の公開

- ・時 間 午前9時から午後5時15分まで(年末・年始・祝祭日を除く)
- ・内 容 展示説明、速報コーナー資料の展示替

エ 資料の保管及び収集

発掘調査の完了した調査資料及び出土文化財等をセンター資料として整理・収納・管理する。また、新たな関連資料の収集に努め、今後の文化財活用に備える。公的性格を持つ文化遺産として収蔵した埋蔵文化財の恒久的な保管をする。

③ 千葉市埋蔵文化財調査センター管理運営事業

施設の清掃、小破修繕など施設全般の維持管理を行う。